

東京市の中央に出来た幅73米の舗装道路



(1) 東京驛より宮城に通ずる行幸道路全景

行幸道路の壯觀

行幸道路設計の要旨は帝都中樞の模範的道路として東京驛より宮城に通ずるものであるから壯重の觀を第一とし、特に濠を横斷する部分には特殊設計として徑 1/4" のクリンプ型の川崎式金網を二段に入れて舗装コンクリートは最も完全に出てをる。

行幸道路の延長は僅に 200 米であるが、幅は 73 米の内を中央 57 米を高速車道、其兩側 12 米宛を緩速の車道、其外側 8 米宛を歩道とし街路樹、燈等適當に配置した。

施工に就て、最も難工事とされたのは濠を埋めた事で、幸ひ近くに舊警視廳燒跡取壊しの煉瓦屑があつたので之を埋立に利用したのである、埋立後の路面沈下に就ては最初から多大の注意を拂ひ捨石上にて時々荷重試験を施して其沈下及び耐力を決定した。埋立の兩岸石積の下は全部松丸太長 30 尺徑六寸のもの

を二尺間に打込み、尙外部には締切用のシートパイルを其儘打込んで濠底の泥土の流動を防いだ、路盤は規定の通り 15 噸ローラーで固め其上に前述のクリンプ型鐵網コンクリート 1:2:4 に配合のものを厚 7 寸を施工した上にアスファルト 2.5 寸を舗装したのであるから絶対に沈下する事はない。

道路舗装に鐵網を入れる事は復興局の工事として赤坂見付にも實施されてをるが之は舗装工法としては最も完全なものである。

行幸道路設計者	復興局技師	川地陽一
	同 技師	河野通靖
工事係主任	同 技手	金子丑松
工事請負人	橋本組工業合資會社	長義三郎

工事期間 大正十三年九月着手
大正十五年七月竣工

Concrete Road at the Center of Tokyo City, width 73 meters.



(1) General View of Main Way from the Imperial Mansion to Tokyo Station.

工事費	は面積 4,456 坪に對し約 62 萬圓を要した。	路面以上の工作物	107,968圓
	内	濠地部分の舗装基礎	61,503圓
	譯	街燈設備	27,940圓
	路面以下の埋立、基礎護岸等	外に直營として濠地舗装費	43,500圓
	376,366圓		



(2) 宮城方面より見たる御幸道路、中央は東京驛、左は海上ビル、右は郵船ビル及び丸ビル
 (2) The Same, Looking toward Tokyo Station.